

竹ヶ島海域公園自然再生事業実施計画 概要

実施者

海陽町

協議会

竹ヶ島海域公園自然再生協議会

実施概要

失われつつある海域公園としての資質（エダミドリイシの大群集をはじめとする豊かな海洋生物を育てていた沿岸生態系）を回復し、その存続を図ることを目的に、エダミドリイシをシンボルとした3つの個別目標と5つの基本方針を設定し、「エダミドリイシが健全な状態で生き続けていける環境」を目指す。

◆ 自然再生の対象となる区域

徳島県海陽町沿岸海域



（出典）海陽町（2021）「竹ヶ島海域公園自然再生事業実施計画」
 [下図：国土地理院数値地図25,000（地図画像）より抜粋]

目標・効果

- 海域公園周辺の環境改善
- 陸域からの環境負荷の軽減
- 地域の多様な主体の参加と連携による取組
- 海域公園と共生する地域漁業の活性化

※海陽町は、5つの基本方針のうち4つについて、実施主体となり、取り組む。

◆ 本計画のポイント

- ・ 本計画は、「竹ヶ島海中公園自然再生全体構想」（平成18年3月策定）※を受け計画された10の個別事業のうち、優先度の高い事業として、海陽町が実施主体となる下記の事業を対象に、取りまとめたものである。
 - ・ 海域公園周辺の環境改善における沿岸生態系・海中景観修復事業（藻場の拡大と再生による海中景観等の修復）
 - ・ 地域の多様な主体の参加と連携による取組における普及啓発推進事業（情報の共有化と情報ネットワークの構築）及び地域活性化支援事業（活動拠点の整備と地元指導者育成・自然再生連携型の地域経済活動の展開）

※平成22年の自然公園法の改正に伴い、「竹ヶ島海中公園」から「竹ヶ島海域公園」に名称が変更されている。